

JAFAME ニュース

NO.19-1 December 27th, 2015

第 19 回アジア市場経済学会全国研究大会が、6 月 27, 28 日に、青森大学で開催されました。大会実行委員長である岩淵護会員、学会事務局の大藪亮会員を始め、大会実行委員の皆様のご尽力のお蔭で、充実した各プログラムが成功裏に実施されました。また、本大会の初日には地域経営学会の特別報告も実施され、北東北地方（青森・岩手）とアジア諸国との観光を通じた国際交流等についても活発に討論がなされたという点でも、特筆すべき大会であったと言えます。本会報冒頭におきましてまず、大会実行委員・事務局の先生方並びに関係スタッフの方々のご尽力に心より御礼申し上げます。

なお、本号より編集メンバーが一新し、総務委員会と致しましては、次号へと更なる紙面充実に取り組みたいと考えております。今後とも本学会員の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本号の主な内容

- I. 2015 年度役員選挙結果報告
- II. 全国研究大会報告
- III. 学会の運営に関する事項
- IV. 入退会者一覧
- V. その他（部会情報等）

アジア市場経済学会
Japan Academy for Asian
Market Economies

〒195-8585 東京都町田市金井町 2160
和光大学経済経営学部経済学科
葉山幸嗣研究室内 アジア市場経済学会本部事務局
Tel: 044-989-7777(内線 5404)
Mail:koyan@mvi.biglobe.ne.jp
HP : <http://www.jafame.jp/>

I. 2015 年度役員選挙結果報告

1. 新理事の選挙結果報告

2015 年 6 月 27 日に青森大学にて行われた総選挙にて、下記の通り 11 名（西部部会 5 名、東部部会 6 名）の新理事が選出された（敬称略）。

理事（西部部会）

大藪 亮（岡山理科大学）
川本明人（広島修道大学）
瀧田修一（東亜大学）
山口隆久（岡山理科大学）
山中高光（花園大学）

理事（東部部会）

石原伸志（東海大学）
岩淵 護（青森大学）
菊池一夫（明治大学）
小森正彦（亜細亜大学）
庄司真人（高千穂大学）
中井教雄（東北学院大学）

2. 会長・副会長の選出

2015 年 6 月 27 日に青森大学にて行われた会員総会にて、下記の通り会長・副会長が選出された（敬称略）。

（会 長） 高橋義仁（専修大学）
（東部担当副会長） 葉山幸嗣（和光大学）
（西部担当副会長） 川本明人（広島修道大学）

II. 全国研究大会報告

第 19 回全国研究大会 開催

場所：青森大学

日程：2015 年 6 月 27 日（土）・28 日（日）

研究発表第 1 日 6 月 27 日（土）会場：青森大学 6 号館

【自由論題報告】 10：00～12：10

第 1 分科会 <6 号館 642 号教場> 座長：関川 靖（名古屋文理大学）

10：00～10：40

第 1 報告「メコン地域の経済発展と日本の協力関係の進展」

報告者：松尾 仁（神奈川大学）

コメンテータ：小林 守（専修大学）

10：45～11：25

第 2 報告「総合商社の中国における医療材料の流通効率化事業-価値共創の視点から-」

報告者：埜本 一雄（安田女子大学）

コメンテータ：山口 隆久（岡山理科大学）

11：30～12：10

第 3 報告「日本製造企業の戦略的撤退-中国市場を中心に」

報告者：百武 仁志（大阪観光大学）

コメンテータ：松尾 仁（神奈川大学）

第 2 分科会 <6 号館 633 号教場> 座長：高橋 義仁（専修大学）

10 : 00～10 : 40

第1報告「インドの消費格差について」

報告者：山中 高光（花園大学）

コメンテータ：葉山 幸嗣（和光大学）

10 : 45～11 : 25

第2報告「アジア自動車市場とわが国自動車メーカーの戦略-タイ市場を中心として」

報告者：清野 聡（広島大学）

コメンテータ：大藪 亮（岡山理科大学）

11 : 30～12 : 10

第3報告「農業協同組合によるアジア市場への挑戦」

報告者：村上 真理（広島大学）

コメンテータ：山口 隆久（岡山理科大学）

第3分科会 <6号館 622号教場> 座長：ケン・トゥック・ラップ（広島修道大学）

10 : 00～10 : 40

第1報告「中国大手製造業のダイナミクス」

報告者：江 向華（就実大学）

コメンテータ：村松 潤一（広島大学）

10 : 45～11 : 25

第2報告「日系外食産業の韓国進出」

報告者：金 炯中（静岡大学）

コメンテータ：石川 和男（専修大学）

【特別報告】 10 : 45～12 : 10

地域経営学会 <3号館 340号教場> 座長：藤永 弘（地域経営未来総合研究所）

10 : 45～11 : 25

第1報告「観光国際戦略の課題と展望－青森市における実践から」

報告者：嘉瀬 慎一（青森市経済部交流推進課）・遠藤 哲哉（青森公立大学）

コメンテータ：楡引 素夫（青森大学）

11 : 30～12 : 10

第2報告「観光行政のイノベーション－アジア市場の観点から」

報告者：佐藤 隆治（はなまきスポーツコンベンションビューロー）

コメンテータ：遠藤 哲哉（青森公立大学）

【特別講演】 13 : 10～14 : 10 <6号館記念ホール>

「観光国際戦略の課題と展望－青森県における実践から」

講演者：坪 健一（青森県観光国際戦略局観光企画課）

司会：村松 潤一（広島大学）

【統一論題報告】 14 : 15～15 : 50 <6号館記念ホール>

司会：小林 守（専修大学）

14 : 15～15 : 00

第1報告「アジアをめぐる付加価値連鎖の拡大・深化に関する一考察」

報告者：小森 正彦（亜細亜大学）

15 : 05～15 : 50

第2報告「日本企業によるBOPビジネスへの成功事例分析の一考察」

報告者：大島 英雄（前-法政大学/国士舘大学）

【研究プロジェクト報告】 15 : 55～17 : 15 <6号館記念ホール>

15 : 55～16 : 35

第1報告「人口減少期における九州のアジア戦略」

司会：高橋義仁（専修大学）

報告者：飯島高雄（近畿大学）・西澤信善（東亜大学）

16 : 35～17 : 15

第2報告「メコン・クロスボーダー地帯のビジネス環境変化」

司会：川本明人（広島修道大学）

報告者：小林守（専修大学）

研究発表第2日 6月28日（日）会場：青森大学6号館

【自由論題報告】 午前の部 10 : 00～12 : 10

第1分科会 <6号館642号教場> 座長：新本寛之（広島修道大学）

10 : 00～10 : 40

第1報告「中国におけるネット通販の現状とラストマイル問題の解決に関する一考察—日本との比較を通じて—」

報告者：孔令建（神奈川大学大学院）魏鍾振（神奈川大学経済貿易研究所）

コメンテータ：石原伸志（東海大学）

10 : 45～11 : 25

第2報告「釜山新港のロジスティックス・ビジネス環境に関する一考察-自由貿易地域でのビジネスを中心に-」

報告者：魏鍾振（神奈川大学経済貿易研究所）

コメンテータ：高橋義仁（専修大学）

11 : 30～12 : 10

第3報告「日本企業における国際競争力基盤の再考-新たなサービス概念の視点から」

報告者：村松潤一（広島大学）

コメンテータ：石川和男（専修大学）

第2分科会 <6号館622号教場> 座長：葉山幸嗣（和光大学）

10 : 00～10 : 40

第1報告「タイ国市場における価値共創型マーケティング戦略の一考察—サービスのロジックの視点から」

報告者：藤岡芳郎（大阪産業大学）

コメンテータ：大藪亮（岡山理科大学）

10 : 45～11 : 25

第2報告「アジア新興市場へのマーケティング戦略—日本中小企業による事例研究」

報告者：山口隆久（岡山理科大学）

コメンテータ：藤岡芳郎（大阪産業大学）

11 : 30～12 : 10

第3報告「フィリピンにおける人口移動と海外送金受取の関係について」

報告者：栗原理（広島国際学院大学）

コメンテータ：中井教雄（東北学院大学）

第3分科会 <6号館633号教場> 座長：川本明人（広島修道大学）

10 : 00～10 : 40

第1報告「中国による消費者金融の展開—自動車販売金融を中心に」

報告者：石川和男（専修大学）

コメンテータ：村上真理（広島大学）

10 : 45～11 : 25

第2報告「多国籍企業子会社の進化と製品開発について-日系自動車メーカーの事例を中心に-」

報告者：境田 良人（元 明治大学）

コメンテータ：河 知延（近畿大学）

11：30～12：10

第3報告「中小企業の海外進出に関する探索的分析」

報告者：曾我 寛人（明治大学大学院）

コメンテータ：関 智宏（同志社大学）

Ⅲ. 学会の運営に関する事項

1. 2014年度第3回理事会議事録

期 日：2015年3月7日（土）

時 間：11:30～12:30

場 所：大阪産業大学梅田サテライトキャンパス

出席理事：飯島高雄，川本明人，小林守，関川靖，高橋義仁，西澤信善，林田秀樹，
村松潤一（委任状10名）

出席顧問：飯沼博一

出席監事：松尾仁

出席幹事：藤岡芳郎，山中高光，大藪亮

議題および審議・決定事項：

1. アジア市場経済学構築ワーキンググループについて

村松会長より，アジア市場経済学構築ワーキンググループの進捗状況について提案がなされ了承された。

- ・ アジア市場経済学の構築を20周年記念事業の成果の一つとして位置付ける。
- ・ 今後の作業の詳しいスケジュールについては，次回理事会にて提案する。

2. JAFAME ニュースの Web 公開について

林田総務委員長より，JAFAME ニュースの Web 公開について下記提案がなされ了承された。

- ・ 総会での審議を経て，JAFAME ニュースを Web 公開する。ただし，財務情報および会員情報（入退会者氏名）は，別ファイルとし会員限定の公開とする（会員には閲覧用パスワードを別途通知）。
- ・ Web へのアクセスが困難な会員に対しては，郵送での対応とする。

3. 名誉会員の推挙について

村松会長より，前回の理事会で飯沼顧問より高井眞先生，故水谷允一先生の名誉会員への推挙があったが，高井先生はすでに名誉会員であること，水谷先生は故人であることから，その対象にあたらないことが確認された。

4. 改選理事および選挙管理委員会について

村松会長より，改選理事および選挙管理委員会について下記提案がなされ了承された。

- ・ 小林副会長を中心に選挙管理委員会を立ち上げる。
- ・ 理事候補者リスト案を運営委員会にて作成し次回理事会にて提案する。

5. 年報論文の J-Stage 公開について

関川年報委員長より、年報論文の J-Stage 公開について下記提案がなされ了承された。

- ・ 論文形式の統一のために投稿規定を見直し次回理事会において提案する。
- ・ 著作権は冊子、Web 掲載ともに著者に帰属する。著者には原則 Web 公開を求めるが、著者が公開を拒否した場合はそれを妨げない。一部論文のみを非公開とすることが可能かどうか J-Stage に確認を行い次回理事会にて報告する。
- ・ J-Stage への論文ファイル・アップロード作業については、作業効率化のために外部委託とする。その予算化については、本部事務局と年報委員会で審議・検討する。

6. 訃報

村松会長より、名誉会員の出牛正芳先生が 2 月 23 日に亡くなられたことが報告され、対応については、会長一任とすることが確認された。また、会員名簿には、物故顧問の表記と同様に物故名誉会委員と記載することとした。

報告事項：

1. 各委員会より高橋国際交流委員長より、3 月末実施予定の海外視察（カンボジア）について報告がなされた。参加予定者 8 名、ペンホイ会員、古川会員が中心となり現地企業等視察の調整が完了。村松会長より、研究委員会に関する報告がなされた。2014 年度の SIG (The Academic Special Interest Groups, 1 月募集締切) として、BOP ビジネス研究会（代表者 大島英雄、研究期間 2015 年 3 月 1 日-2017 年 5 月末）が採択された。

2. その他

西澤理事および飯島理事より、海外会員との交流について下記の要請がなされた。

- ・ 海外会員への積極的な情報発信
入会申込書を日本語で記入している会員に対しては、国内向けニュースでも逐次発信していく。
- ・ 海外会員の全国研究大会参加および報告のバックアップ
今後、大会参加を希望する海外会員も増える可能性がある。そこで、海外会員の大会参加費用等について検討する段階にあると思われる。
- ・ 海外会員との共同研究のマッチング
海外視察がきっかけとなり、海外会員との交流が活発になっている。このような活動を続けることにより共同研究へと発展する可能性があるため、学会として積極的に交流を進めていく。
- ・ 20 周年記念事業の際に、国際シンポジウムを開催する方向で岡本準備委員長と調整している。

2. 2015 年度第 1 回理事会議事録

期 日：2015 年 6 月 27 日（土）

時 間：18:00～18:15

場 所：青森大学

出席理事：飯島高雄、石原伸志、岩淵護、大藪亮、川本明人、グエン・ドゥック・ラップ、小森正彦、新本寛之、高橋義仁、瀧田修一、中井教雄、林田秀樹、葉山幸嗣、古川久継、山口隆久、山中高光

出席監事：河知延

6月27日の役員選挙結果を受け、第1回理事会が村松会長より招集され村松会長の議長のもとで開催された。その結果、理事全員一致で高橋義仁氏が新会長として互選された。

3. 2015年度会員総会 報告

期 日：2015年6月27日（土）

時 間：17:20～18:00

場 所：青森大学

議題1 2014年度事業報告ならびに決算報告

会長、各委員長および事務局から下記報告等がなされたが、いずれも特に疑義無く了承された。

1 会長報告

1) 基本方針の進捗状況

① 学会及び会員の研究水準のさらなる向上

これまでの研究グループ活動を発展させ、研究委員会から提案されたSIGの立ち上げを行い、会員の研究活動を支援することとした。なお、これまでの研究グループの研究成果は、今年度の研究大会で報告される。

② 「アジア市場経済学」に関する研究グループの立ち上げ

今年度、アジア市場経済学構築WGを組織化し、2017年に迎える学会創立20周年に向け、『アジア市場経済学の成果と課題（仮称）』の発行を目指すこととした。

③ 関連諸学会ならびに諸機関との連携

これまでの東アジア地域研究会との合同研究会に加え、今年度から、日本貿易学会の合同研究会を開始した。

④ 官公庁・民間企業とのネットワーク化

大きな進展は得られなかった。

⑤ IT化、国際化

今年度、年報をJ-Stageに掲載するための準備を進めてきたが、掲載可能となった。またアジアの研究機関との研究交流が恒常化された。

⑥ 会員の拡大

2年間で40名の新入会員を得たが、退会者（3年以上の会費未納者も含む）もあり、実質18名の会員増となった。特に海外会員、院生を含む若手会員の増強が図られた。

2) その他

2017年に迎える学会創立20周年に向け、準備委員会を立ち上げた。また、2年間の総括として2013年度に組織改革を終えていることがあわせて報告された。

2 総務委員会報告

1) 「会報」（JAFAME ニュース）第18-1号を2014年10月に、第18-2号を2015年2月に発行した。HP上での公開対象と方法について理事会で議論を継続した結果、本年度の発行は従来の形態を踏襲した。

2) 名簿の完成が次年度への継続課題となる。

3 研究委員会報告

1) 第18回全国研究大会について

第18回全国研究大会が2014年6月28日～29日の2日間、岡山理科大学において開催された。統一論題のテーマは『アジア経済圏の拡大・深化と日本企業』であった。研究報告は、統一論題2本および自由論題17本の研究報告がなされ、各報告とも非常に活発な議論が展開された。

2) 部会研究報告について

2014年度の部会研究報告を、東西部会として各1回、東西合同部会として1回、東アジア地域研究会との合同研究会として1回、貿易学会との合同研究会として1回、合計5回開催された。

4 年報委員会報告

- 1) 本年度取り組んできた年報の電子化については、J-Stageへの掲載が可能となった。
- 2) J-Stageの本格的運用に向けて利用申請書の作成および提出を行なう。

5 国際交流委員会報告

- 1) 視察研修（カンボジア）の実施
王立プノンペン大学とのシンポジウム開催、カンボジア国内企業の視察
- 2) HP用学会案内（英語版、中国語版）の作成

6 日本経済学会連合評議員報告

西澤日本経済学会連合評議員より評議員会報告（補助事業：国際会議派遣補助・外国人学者招聘滞日補助、事業計画）がなされた。

7 決算報告および監査報告

上記事業報告を受けて、大藪本部事務局長より2014年度決算ならびに財産目録の説明がなされた。続いて細川会計監事より監査報告があり、いずれも了承を得た。

議題2 2015年度事業計画および予算案

1 会長報告

1) 研究活動

第20回全国研究大会を2016年6月に二日間にわたり東亜大学で開催する。東西部会、東西合同部会、他学会との合同研究会を実施する。また、アジアの研究機関との研究交流を一層深める。

2) 20周年に向けた準備

① 20周年記念事業準備委員会

メンバー：岡本喜裕（委員長）、小林弘明、西澤信善、運営委員会
また、岡本準備委員長より、進捗状況について報告がなされた。

② アジア市場経済学構築WG

メンバー：経済系 川本明人、関川靖、西口清勝、西澤信善、林田秀樹
流通・マーケティング系 石川和男、井上崇通、村松潤一
経営系 小林守、高橋義仁、河知延

具体的な取り組みとスケジュール：

第1回全体会議（2015年8月）、系別会議（随時）、第2回会議（2016年全国研究大会）、系別会議（随時）、原稿締切（2017年3月）、第3回全体会議（2017年4月）、冊子配布（2017年6月）

2 総務委員会報告

- 1) 「会報」第19-1号および第19-2号を発行する。発行の形態は、第19-1号より学会HP上での公開を主とする。ただし、財務情報については会員だけにアクセスを限定する方法をとる。学会HPの閲覧が困難な会員には冊子体での印刷・郵送で対応する。
- 2) 会員名簿の編集については、本年7月中に編集作業を終える見込みであり10月には発行できるよう作業を進める。

3 研究委員会報告

1) 第19回全国研究大会について

第19回全国研究大会を2015年6月27日(土)および28日(土)の両日、青森大学において実施する。統一論題のテーマは『アジア新興市場の多様性と可能性～ポストチャイナを睨んだ日本企業の新たな挑戦』である。統一論題2本、自由論題17本が予定されている。

2) 部会研究会について

「部会研究会」を、東西合同部会として2回、東部部会・西部部会として各1回、合計4回実施する予定である。

また、他学会との合同研究会も引き続き実施していく予定である。

3) アジア市場経済学会 SIG (The Academic Special Interest Groups (SIG)) について

本年度も引き続き募集し、継続のSIGも含め学会員の研究支援を進めていく。本年度は新たに2件の申請があり、これを承認する。

テーマ：アジアにおける金融の現状と課題

代表者：川本明人(広島修道大)、期間：2015年7月から3年間

テーマ：中国のヤクルト販売にみるサービス・プロセスの構築とサービス・プロバイダの実践

代表者：今村一真(茨城大)、期間：2015年7月から3年間

(参考) なお、継続中のSIGは以下の通りである。

テーマ：BOP ビジネス研究会

代表者：大島英雄(大島経営研究所)、期間：2015年3月～2017年6月まで

4) 学会活性化のための会員動向調査

引き続き学会活性化のため、現在進めている会員動向調査の結果を基礎にして本学会の研究体制を整備していく。

4 年報委員会報告

- 1) 第19回全国研究大会報告を中心に、書評も加えて年報第19号を発行予定である。
- 2) J-Stageの本格的運用を開始する。

5 国際交流委員会報告

- 1) 海外視察研修(予定候補地：ミャンマーを検討中)を実施する。
- 2) 他委員会との協議の上、定期交流事業の計画・検討を行なう。
 - ・王立ブノンペン大学との定期交流事業の検討
 - ・東北財経大学との定期交流事業の実施

6 予算案

以上の事業計画の了承後、大藪本部事務局長による2015年度予算(案)の説明がなされ、原案通り承認された。

議題3 理事・会計監査選挙の開票結果

小林守選挙管理委員長から、標記選挙が滞りなく実施されたことと選挙の結果の報告が行われた。

議題4 理事定員数について

村松会長より現在の会員数割合(東部会員数：西部会員数)と理事数割合(東部理事数：西部理事数)の間にギャップが生じており以下のように進めることが確認され了承された。

- ・内規/細則変更案を理事会にて検討する。遅くとも2016年総会時に変更案承認。

- ・ 2017 年の理事改選から新たな内規/細則を適用する。

議題 5 第 20 回全国研究大会開催校について

東亜大学の瀧田氏より、第 20 回全国研究大会を東亜大学で開催することの承諾の意が表明され了承された。

4. 2015 年度第 2 回理事会議事録

期 日：2015 年 8 月 29 日（土）

時 間：18:00～18:15

場 所：専修大学神田校舎

出席理事：岩淵護，小森正彦，高橋義仁，中井教雄，葉山幸嗣，川本明人，新本寛之，瀧田修一，山中高光（委任状 9 通）

出席監事：清水聡子

オブザーバー：西澤信善，村松潤一（前会長・理事：引継ぎのため）

議題 1 活動方針について

- ・ 新会長の高橋先生より活動方針が示された。これまでの方針を継承し，引き続き学会を発展させていくことが承認された。

議題 2 各委員会，組織体制について

- ・ 次の人事が承認された。

副会長 東部担当：葉山幸嗣（和光大学） 西部担当：川本明人（広島修道大学）

総務委員会委員長：新本寛之（広島修道大学）

研究委員会委員長：大藪亮（岡山理科大学）

年報委員会委員長：瀧田修一（東亜大学）

国際交流委員会委員長：飯島高雄（近畿大学）

事務局長：葉山幸嗣（和光大学）

任命理事：古川智（東亜大学・来年度大会開催校） 松尾仁（神奈川大学）

日本学術会議・日本経済学会連合：西澤善信（東亜大学） 村松潤一（広島大学）

- ・ 各委員会の構成委員については，運営員会で人選の原案を作ることが確認され，次回理事会で承認することが確認された。
- ・ 顧問の就任について，前々回の会長経験者を，会長の推薦を経て理事会にかけるべきである旨の発言があった。また，年齢制限をつけるべきとの意見が出た。

議題 3 幹事委嘱について

- ・ 次回理事会までに，会長および副会長で幹事として相応しい人事案を作成することが承認された。

議題 4 規約改正の事案検討について

- ・ 学術会議との面会についてタイムスケジュールを確認する必要がある旨が確認された。また，会長の変更および担当委員が変更を報告する必要がある旨が確認された。
- ・ 東西理事の定数の調整をすることが確認された。
- ・ 9 月の JAFAME において，新会長挨拶および新体制を告知する旨が確認された。基本的には HP で掲載する旨が確認された。

- ・ 年報の投稿論文について、受付場所を確認する必要がある旨が確認された。

その他

- ・ 必要に応じ、会長の要請があれば、必要な人員が理事会のオブザーバーとして出席することが可能であることが承認された。
- ・ 西澤先生より、20周年記念事業について、国際シンポジウムの開催が岡本顧問より提案されており、海外会員の協力を得て、「①中国の流通マーケットについて」、「②東南アジアのASEAN経済共同体ないしはメコン開発地域に関するシンポジウム」、等の企画があることが報告された。また、来年度東亜大学における全国大会では、中間報告をする予定であることも報告された。
- ・ 村松先生より、アジア市場経済学WGについて、今後の方針について報告があった。
- ・ 次回理事会について2015年11月頃に予定している旨が報告された。
- ・ 今後の研究会について、今後の予定が示された。東西部会については各1~2回開催されることが確認された。
- ・ 理事会の開催回数について意見が出た。また、理事会参加に関する旅費について、どのようにすべきか考慮する必要があるとの提案がされた。
- ・ 高橋会長より、各委員会の引継ぎについて確認された。

IV. 入退会者一覧

1. 会員の入退会が了承された。

2014年6月28日 会員数 234名（うち法人会社4社、海外会員33名）

2015年6月27日 会員数 238名（うち法人会員2社、海外会員38名）

V. その他（部会情報等）

1. 東部部会研究報告会 報告

日時：2015年5月16日（土）14:30-16:30

場所：専修大学神田校舎（7号館731教室）

報告内容：

第1報告 論題：「韓国食品企業の中国市場進出戦略」

報告者：金炯中 氏（静岡産業大学）

第2報告 論題：「メコン地域の発展動向—流通，物流，消費の視点から」

報告者：小林 守（専修大学）